

平成30年度第4回青梅市協働事業市民推進委員会会議録

平成31年2月21日

議 会 会 議 室

午 後 2 時 ～

欠席1

1 あいさつ

星野部長

川崎委員長

2 報告事項

(1) 平成31年度青梅市市民提案協働事業スケジュールについて

(事務局より報告)

昨年11月に、市役所庁内各課において、市がかかえている課題の中で、市民活動団体とともに解決したいテーマを募集しました。

行政テーマにつきましては、後程ご説明をさせていただきます。

2月に7提案のうち5提案の採用となっております。

3月下旬に、市議会本会議で市民提案事業の予算が可決されますと、31年度の予算が確定となります。

それを受けまして、広報おうめ4月1日号およびに市ホームページに募集の記事を掲載させていただきます。受付期間は4月1日月曜日から4月26日金曜日までとなります。

5月1日天皇即位の日の大型連休となるため、5月7日から第1次審査の書類審査となります。審査は、この市民委員会から4名、市役所庁内の推進会議から3名の計7名の審査委員が審査を行います。5月上旬に、31年度第1回の市民推進委員会を開催し、そこで審査委員会委員をこの委員会から4名選出とさせていただきます。大型連休のため、スケジュールが厳しくなります。

5月下旬に第2次審査のプレゼンテーションを実施いたします。同日に、平成30年度の事業報告会も開催する予定です。

審査の結果により、採択事業の決定を市長が行い、6月上旬に市と事業実施団体との協定書を締結し、31年度中に事業を実施するというスケジュールとなっております。

以上、雑駁ではございますが、平成31年度市民提案協働事業実施スケジュールの説明を終わります。

(2) 平成31年度青梅市市民提案協働事業行政テーマの選定について
(事務局より報告)

続きまして、行政テーマの選定について報告させていただきます。
先ほどスケジュールでも少し触れましたが、来年度の市民提案事業「行政テーマ」でございますが、通年3～4件程度でありましたが、本年度は5件を選定いたしました。

資料2をご覧ください。

(資料2-1を説明) ※「 」テーマ、()は提案課・提案者

- 1 「東京2020大会の成功に向けた文化振興」
(オリンピック・パラリンピック担当)
- 2 「女性活躍サポート」 ((市民活動推進課)
- 3 「インバウンド誘客獲得による地域の活性化」(職員提案)
- 4 「軽スポーツの普及による健康増進」(職員提案)
- 5 「河川における市民参加による外来植物の駆除」(環境政策課)

以上5件、平成31年度市民提案協働事業「行政テーマ」の選定についての説明を終わります。

委員長：何かございますか？

委員：提案者が、担当課と職員とありますが。

事務局：庁内で募集したところなかなか数が集まらないので、市全体でとらえて担当課以外でも提案があればと募集し、自分の職場以外のところの提案があり、一般職員で受理した結果となります。

委員：職員から2つ提案があるのはいいことだと思います。実施するにあたっては担当する課があるということですのでよろしいでしょうか。テーマ3、観光地と地域との関係、行政と市民と地元の企業産業の協力必要。実施していけるとよい。

事務局：3者の協力必要。

課長：補足、行政がかかえる課題。行政テーマと自由テーマがある。

今までにない協働ができればよいと考えている。市民団体と企業がうまく協働していければ新しい協働のかたちと思っている。

2件不採択になった。見守り隊と防災。

委員：テーマ4について、軽スポーツとはどのような具体的にイメージか。

事務局：お年寄りが継続的にできるような簡単なスポーツというイメージ。梅っこ体操、ラジオ体操などのような簡単に継続して取り組んでいけるスポーツ。

委員：テーマ2の事業について、支会でも女性自治会長が誕生し、自治会活動にも女性がどんどん活躍してきている。将来的にもいいテーマだと思う。

課長：テーマ4について、軽スポーツ、梅っこ体操は介護予防体操として、自治会館等で行われている。新しいものをつくるのではなく、今あるものをどんなふうに広めていけるか提案していただければいいとイメージしている。テーマ2について、どうしたら女性が活躍していけるか提案していただきたいと考えています。柔軟な考えで提案していただきたい。

委員：テーマ2、漠然としていてつかみどころがない。

課長：募集の際には、テーマをしぼっていきたいと思います。

委員：講座の実施ではないということですか。

事務局：講座は市でもしている。女性が輝けるいろいろなイベントであれば歓迎する。

委員：青梅市では女性は活躍していると思う。今やっている人をより輝かせるのか。

事務局：いま活躍している方をさらにリーダーとしてきたえたり、次のステップに進むための提案でも、よい方向に考えたい。

委員：女性活躍サポートというネーミングが男性が考えた言葉に思う。かえられるといいかなと思う。

委員：みなさん活躍されている。

委員：若い人の方が保守的。

委員：今の方は家庭があつたりいろいろで、力は持っているけどなかなか活躍できないでいる。

委員：女性の地位向上を受け継ぐ世代が、専業主婦希望だったり保守的。活躍して無い方が多いと思う。

委員：サポートしてもらえないと活躍できないのかなと思ったり、保守的になったりするのかなと思う。

委員：もう少しネーミングを考えた方が。2，3，4に関しては事業ではないテーマで、1，5は

委員：平成27年の「ままにこっと」さんの事業がよかった。

事務局：テーマの言い回しについてはもう少し研究させてください。

委員：テーマ3インバウンドは壮大なテーマですが、青梅市ではどのように考えているのか？何万人とか想定されているのですか？

事務局：提案者からは、2017年に2869万人、2018年には3000万人突破としたと聞いている。東京2020大会には4000万人越えと考えられる。観光課は外国人に対する対応整備しており、良い提案が頂ければと考えて、の提案です。

部長：市政方針演説で「玉、磨かざれば光なし」との言葉があった。御岳山での芸者ナイトのイベントでは、それを目的に訪日される方もいると聞いている。身近な原石を磨く必要があるということで、行政だけでは気づかない提案をいただければと考える。インバウンドは壮大なテーマですが、2020年以降も意識していかなければならないテーマと考えます。

委員：高齢者の方もおられるのでインバウンドのうしろに訪日客とかの説明を。

事務局：有難うございます。

プレゼンと報告会は5月28日または29日。5月上旬に第1次書類審査。その前に審査員を決める予定です。

それでは、簡単にテーマの説明をさせていただきます。

(3) 平成29・30年度協働事業市民推進委員会意見について

(事務局より報告)

本件は、青梅市協働事業市民推進委員会設置要綱第2条第1項で「青梅市と市民活動団体等との協働事業の在り方等協働の推進についてその結果を本推進会議へ報告することとなっております。昨年度と本年度あわせて7回の委員会でもとめた委員のご意見を1月24日に川崎委員長と宮口委員が本推進会議にてご報告いただきました。

報告書につきましては資料3をご確認ください。

1 協働事業の在り方等協働の推進について川崎委員長から報告いただきました。

2 協働事業の評価について宮口委員から報告いただきました。

3 その他協働事業推進についての(1)と(3)は川崎委員長、(2)は宮口委員がそれぞれ報告いただきました。

報告に対し、特段質疑等はございませんでした。事務局からの報告は以上でございますが、報告された川崎委員長、宮口委員補足等ございましたらお願いいたします。

委員長：一生懸命しゃべったわりには、なんの反応もなかった。

委員：行政側がどう対応してくれるのかがわからなかった。

委員長：やりとりがないので残念。

部長：今回のような報告ははじめての機会であった。行政側との意見交換については、次回への反省かなと思っております。報告いただいた内容については考えていきたい。

委員：はじめての機会なので一步前進かなと思う。

課長：お答えできる場ではなかったが、場を継続していくことによって繁栄していける機会になっていけばいいのかと考えます。

委員：進んだかなと思います。青梅の方は、「私はこう思う」という「私は」を言わない。私の気持ちをいれていただけると協働もすすむのかなと思います。

委員：事前にはなかったのですか。

委員：その場での回答とするのか、その後の対応とするのか考えていった方がいいかと思います。

委員長：考えていただければと思います。

それでは、(4)について

(4) 青梅市協働事業市民推進委員会公募委員募集について

(事務局より報告)

資料4-1をご覧ください。本件は、青梅市協働事業市民推進委員会設置要綱第3条において、「委員会は、次に掲げる者につき、青梅市長が委嘱する委員10人以内をもって組織する。とされ、社会福祉協議会関係者

2名、特定非営利活動法人、ボランティア団体および地縁団体の代表者5名以内と公募委員3名以内とされております。次に第4条において「委員の任期は、2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。」とされております。

皆様は、平成29年度に市長から委嘱され、平成30年度で任期が満了することとなっております。このことに伴い、平成31年度におきまして、公募委員を募集していくこととなります。資料4-2をご覧ください。青梅市協働事業市民推進委員会公募委員募集要領にもとづき、資料4-3の「広報おうめ」2月15日号において、公募委員の募集を掲載いたしました。

概要でございますが、応募期間は2月15日から3月8日までとし、募集人数は3名、任期は平成31年4月から平成33年3月となります。また、「協働のまちづくり」について400字以内の作文を添付することとしております。選考方法ですが、一次選考は書類審査を行い、候補者が募集人数を超えた場合には、公開抽選により決定することとしております。

現在のところ、応募者はございません。

以上、青梅市協働事業市民推進委員会公募委員募集についての説明を終わります。

委員長：何かご質問はありますか？

ないようですので、協議事項にうつります。事務局よりお願いいたします。

3 協議事項

(1) 協働ナビの改訂について（資料5）

（事務局説明）

「協働ナビ」の改訂についてご説明します。第3回の委員会におきまして、委員の皆様にご意見をいただきました事項をもとに修正をさせていただきました。資料5をご覧ください。

（資料5をもとに説明）

- ・文化交流センター関係紹介
- ・お～ちゃんフェスタ、青梅三田甲冑隊、各地区文化祭掲載

- ・ボラセン紹介、イベント用貸出備品の紹介
- ・提案シート掲載
- ・しょうぶ公園ボランティア
- ・文化交流センター
- ・委員会名

修正箇所の説明は以上となります。

委員：最後の委員会名のところ、行政と市民が協働でしているのを載せたほうがよい。

委員：文化交流センターの機能をいれたらよい。

事務局：委員会の紹介と発行に至る紹介を載せる。

意見を反映させたものをメールで、お届けいたします。変更点等ご連絡ください。よろしく申し上げます。

4 その他

委員長：その他につきまして、本日が今年度最後の委員会となります。皆様におかれましては、一言ずつ感想等いただければと思います。

全員：(一言ずつの発言あり)。